



關 漢 林





文化五戊辰歲

越後縣

極車堂連中

五五部

うねハ一也

明くくく

森の妻

松下堂主人

各派

大やぶの口方の見掛をさる月 季和
 ちんちんちんちんちんちんちん 新條
 春約や扇の類よききききき 乐只
 ちんちんちんちんちんちんちん 榮和
 谷の片れ舞のちんちんちんちん 有明
 ねんねんねんねんねんねんねん 寿味
 ちんちんちんちんちんちんちん 寛栄
 ちんちんちんちんちんちんちん 赤巻
 ちんちんちんちんちんちんちん 松芳
 ちんちんちんちんちんちんちん 政本



ふしとて 福をいねむる 文保

人の世にふしとて 福をいねむる 如例

さきもやふしとて 福をいねむる 有妻

つねにふしとて 福をいねむる 以文

くまのふしとて 福をいねむる 東成

福をいねむる 行言

世にふしとて 福をいねむる 幸安

ふしとて 福をいねむる 就善坊

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

ふしとて 福をいねむる 乙 東山

月日は佳む世はぬとを以
て此人多あうて難友へも
うつくしく社中へ高徳の意を
もれりうまれりて一いつ
極楽の文を記す下にあつて
後して字成 桂木の書い
ゆふもぬもて人々を別
修しんを多んもいふ
はれい不功の書かひり
を海なきもら目なき
あしりて高もその核
廟りて高もその核

李揚

おのりよもいん 柳も芽津ら付

紫の栞れらも うと書

李英

春のよもいん 柳も芽津ら付

東葵

心してうれ書の人

李児

遠景ももていん 柳も芽津ら付

李柳

くも書く月も書

李谷

春のよもいん 柳も芽津ら付

桂指

乙葉ぬくぬの口と解く合

楊

はれい不功の書かひり

英

依海のぬよ川くのぬ

葵

波を寄れちりていん

児

玉千の書ももていん

柳

及ぶと... 離る入る...
離る入る... 離る入る...
離る入る... 離る入る...
離る入る... 離る入る...
離る入る... 離る入る...

か...
...
...

松下堂
李英

文田の

...
...
...

...
...
...

橋治刀

